

向日市文化資料館

# 古代衣裳の製作 ボランティア募集

古代の都・長岡京の時代を「ファッション」から学び、理解を深めてみませんか？

製作した衣裳は、ワークショップや着用体験イベントなどで活用しています。衣裳の製作・着付をおこなうボランティアを募集します。



衣裳製作

- ◎衣裳や佩飾品(アクセサリー)の製作
- ◎これまでに製作した衣裳のメンテナンス

お裁縫やミシンがけが  
好きな方・得意な方



衣裳着付

- ◎製作した衣裳の着付け練習
- ◎髪の毛のセットの練習

衣裳の着付けに興味がある方  
ヘアアレンジが好きな方・得意な方

- ・歴史や古代の服飾に関する知識は特に必要ありません。活動していく中で、一緒に知識を深めていきましょう！
- ・製作・着付のどちらか、もしくはかけもちでの参加も可能です。
- ・見学や、途中からの参加もできます。
- ・現在、不定期で活動しています。希望される方はお気軽に向日市文化資料館(075-931-1182)までお問い合わせください。

## 向日市文化資料館

〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内40-1  
電話 075-931-1182 / FAX 075-931-1121



←裏面もご覧下さい

# 古代衣裳製作ボランティア

## これまでの活動を紹介します

### 【はじまり】

2014年、向日市文化資料館の開館30周年を記念する事業のひとつとしてスタートしました。

古代の衣裳に関する正しい知識を身につけた上で、よりたくさんの方に衣裳を通じて古代の都・長岡京の歴史や文化の一端に触れてほしい。そういう思いや工夫をこめて製作しています。

### 【製作にあたって】

奈良県で毎年春と秋に開催される「平城京天平祭」。その、衣裳行列の製作・監修を手がけられ、最近では全国に活躍の場をひろげておられる古代衣裳研究家・山口千代子先生にご指導を仰ぎました。正倉院に現存する衣裳をもとに製作された衣裳は、色・柄などの時代考証とともに着やすさ（着付けやすさ）・美しさを備えたものとなっています。



▲文化資料館で開催した、山口先生による古代衣裳ファッション講座のようす。



▲▶文化資料館の研修室で、活動。手縫いやミシンがけ、ステンシルなど、各自が役割分担しながら作業を進めます。



平成  
29年5月現在、子ども  
の衣裳25セット(男10、  
女15)、大人の衣裳13  
セット(男6、女7)が完成  
しています!



### 【完成した衣裳は・・・】

館内でのイベントなどで使用しています。

駅などに掲示されている向日市のPRポスター「むこう、むこう。」にも採用されているんですよ!



### 【「古代衣裳」、なんだか難しそうですが・・・】

日本の服といえばいわゆる和服、“着物”のイメージがありますが、古代の服の特徴を一言でいうと「まるで洋服」。たとえば女性のボトムスは「裳(も)」と呼ばれるものですが、現代のスカートととても良く似ていますよね!きっと、身近に感じていただけるはずです。

まずは見学からでも結構です!  
皆様のご参加をお待ちしています。